

事務事業名		病害虫防除支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8703	一般	6	1	3	病害虫防除支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S53年度～ 年度		根拠法令 条例等	稲病害虫広域集団防除事業実施要領					
	実施方法		直営		事業分類		支援事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
水稻病害虫の予防・駆除のために各地区の稲病害虫地域防除協議会が実施する、水稻の無人ヘリ防除等にかかる事業費について、その費用の一部を助成する。  * 稲病害虫地域防除協議会は、水稻の無人ヘリ等による広域集団防除を行っており、植野地区病害虫防除協議会の6団体が活動している。			(市の活動) 各協議会が実施した広域集団防除事業に対し補助金を交付した。  (広域防除協議会の活動) 無人ヘリ等による水稻広域集団防除を行った。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
広域防除団体数			団体	7	7	7	7	7		
広域防除面積			ha	976	995	995	995	995		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 水稻作付農家 ② 水田(水稻) ＜補助対象団体＞稲病害虫地域防除協議会			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
防除実施農家			戸		871	871	880	880	880	
総水田面積			ha		3,420	3,395	3,366	3,366	3,366	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的			水稻の安定生産と品質の向上を図る。		成果指標					
			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
反収(県南部)			kg/反	510.0	498.0	510.0	510.0	510.0		
作況指数(県南部)			%	101	99	100	100	100		
防除率(広域防除面積/総水田面積)			%	28.5	29.3	29.6	29.6	29.6		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
利用集積を積極的に行ってもらう。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
農地貸借面積(公社保有面積)			ha		-	1,131.7	1,050.0	1,100.0	1,150.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510	
	事業費計(A)	千円	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	3,510	補助金	3,510	補助金	3,510
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	250	250	250	250	250		
人件費計(B)	千円	973	985	985	985	985		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,483	4,495	4,495	4,495	4,495		

事務事業名	病虫害防除支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	-----------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	水稻の防除は、以前は個々もしくは小さな集団で実施していたものが、機械の大型化や進化などにより、より広域で実施できるようになった。被害拡大防止の点からも、広域実施が行われるようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	なかなか個人で実施するのは難しく、環境に配慮する点からも、一斉実施のほうが現実的となっている。 また、合併により、平成17年度からは田沼・葛生地区も対象となった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	薬剤散布に関する安全性への関心が高まり、散布する薬剤の内容、人体への影響等に関する問い合わせが、市及び事業実施主体に寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	補助率は事業費の30%以内としているが、予算上限のため現状は約10%の補助率となっている。前年度に予算減額を行っており、本年度は現状維持での交付となった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	当地域の主要作物である水稻生産を支援することは、農業全体の振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	利用農地の大半が水稻作付であり、その水稻を支援することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	利用農地の大半が水稻作付であり、その水稻を支援することは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	薬剤散布事業に対する補助であり、水稻被害は病虫害以外の要因も考えられるが、近年大きな病虫害被害はなく効果を得ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	補助金は、事業費の30%以内(予算上限)としているが、現状では約10%の補助率となっている。補助金については、段階的な削減に検討の余地がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	現在は約10%の補助率のため、受益者は面積に応じて約9割の自己負担をしている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
各組合が自己財源のみで当防除事業を実施可能になる場合、もしくは各防除組合の解散等により広域防除が行われない場合。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 補助金の段階的な削減を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	事業の成果が低下しないように、補助金の交付以外で、支援出来る方法を事業主体と検討する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					